

西中学校だより



# 一本の樹

校訓 しなやかに すこやかに

令和6年10月1日  
第6号  
上尾市立西中学校長  
宮田 純生

## 10月1日 何の日か知っていますか

校長 宮田 純生

10月に入りました。生徒も合唱コンクールや新人体育大会上尾市予選会が終了しました。行事の多い学期となっていますが、この2学期は学級の団結力や仲間との信頼関係が試される機会となっています。

さて、10月1日は何の日か知っていますか。今年の10月1日で日本の高速鉄道である新幹線が開通して60周年の日を迎えました。

私は、鉄道について詳しくはないのですが、調べてみると、当時の東海道線が過密状態であることと大阪駅まで当時の特急電車だと6時間50分かかってしまう状況にあったため、東京オリンピックの開催に合わせて世界一の高速鉄道を走らせようと計画され、開通したようです。当時の新幹線は時速250km（最高速度？）だったと記憶しています。「びゅわーん びゅわーん 走る・・・時速250キロ・・・」という歌がありました。

1日あたりの列車本数は365本、輸送人員は、年間約1億6,500万人にも達するそうです。

高速鉄道でありながら通勤路線にも匹敵する世界有数の大量輸送サービスを提供している鉄道路線だそうです。（数字はいずれも2016年度）利用客の約7割は出張・ビジネス利用であることも特徴です。

速度は世界一ではありませんが、日本の新幹線が世界に誇れるのは定時運行率と安全性だそうです。

東海道新幹線は先程述べたとおり1日平均365本運行しており、つまり、世界最高速レベルの列車が、ほぼ3～6分間隔で運行しています。

1日あたりの平均輸送人員は45万2000人で高頻度、大量輸送しているにも関わらず、開業以来、衝突、脱線、火災など鉄道事故による死亡事故なしの記録を更新し続けています。

2016年度は年間で13万本が運行して、1列車あたりの平均遅延時間は24秒であり、地震や豪雨、大雪などの自然災害による遅延も含めたもので、平常時は秒単位での定時運行が実現されています。

ある外国人の方は、「クールな機能性、車体の美しさ、時間の正確性……。新幹線は、日本人が世界に送り出した傑作だと思います」と伝えています。

日本の誇りだと考え掲載いたしました。

※学校評価（中間評価）は臨時号でお知らせいたします。



修学旅行にて